

2013年度産学官学術交流委員会フォーラム

2013年度産学官学術交流委員会フォーラムを産学官学術交流委員会・さんわか共同企画として、下記の要領で開催します。第5部からは、技術交流会と題して飲み物を手にして（ミキサーと合同開催）ポスターディスカッション（産・学・官の絆）を行い、若手研究者との積極的な交流を図ります。皆様奮ってご参加ください。

主催：日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」、「産学官若手交流委員会（通称：さんわか）」

日時：2013年3月26日（火）13時30分開始

会場：東北大学マルチメディア棟および川内の杜ダイニング

総合司会；北野 克和（東京農工大学）

開会の挨拶；松田 譲（産学官学術交流委員会委員長）

■第1部 第8回農芸化学研究企画賞受賞者最終報告会（東北大学マルチメディア棟）

13:30～13:50 「根圏作用を高度利用した次世代型環境浄化技術の開発」

森川 正章（北海道大学・大学院地球環境科学研究所生物圏科学専攻）

座長；井上 健二（(株)カネカ R&D 企画部）

13:50～14:10 「フェアリーリング惹起物質からの植物成長促進剤の開発」

河岸 洋和（静岡大学・創造科学技術大学院バイオサイエンス専攻）

座長；小山 泰二（キッコーマン（株）研究開発本部）

14:10～14:30 「インジゴ還元酵素の機能解析による酵素建て染色法の開発」

大島 敏久（九州大学・大学院農学研究院生命機能科学部門）

座長；加藤 慎一郎（協和発酵キリン（株）研究本部研究企画部）

■第2部 シンポジウム「機能性食品の最前線：研究の現場から製品へ、そして様々な分野への拡がり」（東北大学マルチメディア棟）

「農芸化学」は、実学として発展してきた学問です。しかしながら、数多くの研究が行われている一方で製品化、実用化にまで辿り着く研究はごく一部に限られています。このため、実学としての農芸化学の真のあり方が今問われています。本シンポジウムでは、農芸化学の重要なアウトプットのひとつである機能性食品の分野にフォーカスし、同分野を牽引するトップランナーの先生方に、機能性食品の今、そして未来をこれまでの研究、開発事例を交えつつご紹介頂きます。そして、現在の農芸化学に対する本音を伺い、目指すべき農芸化学の未来像を考察する機会にしたいと思います。

14:40～15:40 講演「トップランナーが語る機能性食品の最前線」

司会；穴澤 秀治（産学官学術交流委員会理事）

(1) 大澤 俊彦（愛知学院大学・心身科学部長・教授）

機能性食品研究、特に抗酸化食品研究の第一人者の大澤先生。先生が掲げられる「食品と生命機能の関わり」とは？食事が要因となる生活習慣病誘発メカニズムに関する研究の事例を紹介して頂きながら、機能性食品への思いを熱く語って頂く予定です。

(2) 鈴木 健吾（株式会社ユーグレナ・研究開発部部长・取締役）

「ミドリムシが地球を救う」センセーショナルなキャッチコピーを掲げる株式会社ユーグレナ。無限の可能性を秘めたミドリムシがもたらす地球の未来とは？研究事例を交えてご紹介頂く予定です。

15:40～16:40 パネルディスカッション：「トップランナーと語る、農芸化学の未来予想図」

司会：穴澤 秀治（産学官学術交流委員会理事）

パネリスト：大澤 俊彦，鈴木 健吾，松田 譲（産学官学術交流委員会委員長），千葉一裕（東京農工大学）

■第3部 第9回農芸化学研究企画賞受賞者中間報告会・第10回農芸化学研究企画賞受賞者紹介（東北大学マルチメディア棟）

司会；伏信 進矢（東京大学）

16:50～17:05 第9回農芸化学研究企画賞受賞者中間報告会

「mRNA 成熟阻害活性を指標とする抗ガン化合物の探索と産業利用」

増田 誠司（京都大学・大学院生命科学研究科）

「ソバを原料とする降圧食品の開発と降圧メカニズムの解明」

中村 浩蔵（信州大学・農学部）

「セルロソーム生産菌ゲノム情報を活用した CBP 型バイオ燃料生産微生物の創製」

田丸 浩（三重大学・大学院生物資源学研究所）

17:05～17:15 第10回農芸化学研究企画賞受賞者紹介

「高機能食品成分を用いた脳老化の予防と改善に関する研究」

久恒 辰博（東京大学・大学院新領域創成科学研究科）

「メタン発酵プロセスに用いる好熱性細菌の探索と応用」

中島 琢自（北里大学・感染制御研究機構）

「ヘスペリジンの機能性に注目したかんきつ類の高度利用と地域活性化」

田丸 静香（長崎県立大学・看護栄養学部）

■第4部 ポスターショートプレゼンテーション（東北大学マルチメディア棟）

司会；本田 孝祐（大阪大学）

17:15～18:00 ポスターショートプレゼンテーション（産・学・官の絆）

今年度は、「産・学・官の絆」をタイトルとして、復興支援を中心とした産学官連携研究 14 例を紹介いたします。研究シーズの発掘から実用化に向けた開発含めて、研究の着眼点やストラテジーなどについて、幅広い研究者、特に若手研究者が自由に意見交換できる場を設けたいと考えています。第5部からは、ミキサーと合同開催となり飲料を手にしたがらの交流会形式となっております。皆さま奮ってご参加ください。

■第5部 ポスターディスカッション（川内の杜ダイニング）

18:30～20:30 ポスターディスカッション（産・学・官の絆）&技術交流会（ミキサーと共催）

※第5部はミキサーと合同開催となっております。皆様奮ってご参加ください。

ポスター発表：

1. 「アスベスト結合タンパク質を用いたアスベスト迅速検出法の開発」
石田 文典¹，西村 智基¹，Maxym Alexandrov¹，市田 越子²，河崎 哲男²，関口 潔³，黒田 章夫¹
(¹広島大学大学院先端物質科学研究科，²㈱インテック，³㈲シリコンバイオ)
2. 「有機水耕の〈現在〉と、実栽培プラントの被災地での展開について」
木村 吉博¹，武田 豊樹^{2,3} (¹復興支援団体 未来農業同人 G1，^{2,3}株式会社環境ルネサンス，^{2,3}有機質肥料活用型養液栽培研究会)
3. 「サメの丸ごと利用で復興を！」
上原 一貴¹，渡部 睦人¹，野村 義宏¹，今井 直也²，高橋 滉² (¹東農工大・農・硬蛋白研，²㈱中華・高橋)
4. 「イートハーブからの贈り物「山のきぶどう」で肌のアンチエイジング ～久慈でうまれたアメジスト化粧品～」
川田 千夏¹，川原 美紗江¹，野村 義宏¹，佐々木 茂²，高橋 亨³，小浜 恵子³，長澤 孝志⁴，江見 崇⁵，山下 和彦⁵ (¹東農工大・農・硬蛋白研，²㈱佐幸本店，³岩手県工業技術センター，⁴岩手大学，⁵ヤエガキ発酵技研)
5. 「炊飯米を利用した”ごはんパン”の特性」

奥西 智哉, 岩下 恵子, 宮下 香苗 (農研機構食総研)

6. 「実験動物を用いた塩味・うま味評価と増強効果評価」
河合 崇行 (農研機構食総研)
7. 「ワカメ未利用廃棄物からの効率的バイオエタノール生産技術開発」
岡井 公彦¹, 浦野 直人¹, 田之倉 優², 尾島 孝男³ (¹海洋大院海洋, ²東大院農, ³北大院水産)
8. 「東北の復興を支える水処理技術 生態系の浄化機能を活用した汚水処理システムの開発」
中野 和典 (日本大学工学部土木工学科)
9. 「コージビオースホスホリラーゼの結晶構造解析」
岡田理志¹, 山本拓生², 渡辺 光², 西本友之², 茶園博人², 福田恵温², 若木高善¹, 伏信進矢¹
(¹東大・院農, ²林原・研究開発本部)
10. 「放射能除染洗浄剤」
泉田 将司 (㈱カネカ)
11. 「びん牛乳のおいしさの科学的な解明」
森川 裕美 (㈱明治)
12. 「マウス腸管虚血再灌流モデルに対する流動食 MEIN の抗炎症作用」
中村 健太郎 (㈱明治)
13. 「納豆菌による食後高血糖改善成分の生産」
仲川 清隆¹, 小野瀬 晋司¹, 池田 亮一², 木村 俊之³, 山岸 賢治³, 樋口 央紀⁴, 宮澤 陽夫¹
(¹東北大院農, ²旭松食品㈱, ³東北農研セ, ⁴㈱機能性植物研)
14. 「大震災における公設試研究員の企業支援実践」
庄子 真樹 (宮城県産業技術総合センター食品バイオ技術部)